

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）	都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>都道府県型 JP ドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p style="text-align: right;">株式会社日本レジストリサービス</p> <p style="text-align: right;">公開: 2012年 5月 16日</p> <p style="text-align: right;"><u>改訂: 2013年 11月 12日</u></p> <p style="text-align: right;">実施: 2012年 7月 16日</p> <p style="text-align: right;"><u>実施: 2013年 11月 12日</u></p> <p style="text-align: center;">都道府県型 JP ドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録可能な都道府県型 JP ドメイン名の文字種別と文字列 2. 都道府県型 JP ドメイン名の構成 3. 申請文字列の正規化 4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング 5. 都道府県型 JP ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式 6. 制限事項 <ol style="list-style-type: none"> 6.1 ネームサーバホスト名における制限事項 6.2 電子メールアドレスにおける制限事項 6.3 URI における制限事項 6.4 署名鍵における制限事項 7. 予約ドメイン名 <p>別紙 1 「都道府県ラベル」</p> <p>付録 1 互換用文字</p> <p>付録 2 正規化における文字置換の方式</p> <p>付録 3 正規化における文字合成の方式</p> <p>付録 4 日本語文字一覧</p> <p>付録 5 ABNF による都道府県型 JP ドメイン名の定義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録可能な都道府県型 JP ドメイン名の文字種別と文字列 <p>都道府県型 JP ドメイン名における文字種別と文字列を以下に規定する。</p> <p>「ドメイン名」は、ラベルをピリオド(<u>"."</u>) で区切って連結した文字列である。</p> <p>「ラベル」は、本技術細則により定められる ASCII ラベルおよび日本語ラベルにより構成される。</p>	<p>都道府県型 JP ドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p style="text-align: right;">株式会社日本レジストリサービス</p> <p style="text-align: right;">公開: 2012年 5月 16日</p> <p style="text-align: right;">改訂: 2013年 11月 12日</p> <p style="text-align: right;">実施: 2013年 11月 12日</p> <p style="text-align: center;">都道府県型 JP ドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録可能な都道府県型 JP ドメイン名の文字種別と文字列 2. 都道府県型 JP ドメイン名の構成 3. 申請文字列の正規化 4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング 5. 都道府県型 JP ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式 6. 制限事項 <ol style="list-style-type: none"> 6.1 ネームサーバホスト名における制限事項 6.2 電子メールアドレスにおける制限事項 6.3 URI における制限事項 6.4 署名鍵における制限事項 7. 予約ドメイン名 <p>別紙 1 「都道府県ラベル」</p> <p>付録 1 互換用文字</p> <p>付録 2 正規化における文字置換の方式</p> <p>付録 3 正規化における文字合成の方式</p> <p>付録 4 日本語文字一覧</p> <p>付録 5 ABNF による都道府県型 JP ドメイン名の定義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録可能な都道府県型 JP ドメイン名の文字種別と文字列 <p>都道府県型 JP ドメイン名における文字種別と文字列を以下に規定する。</p> <p>「ドメイン名」は、ラベルをピリオド (".") で区切って連結した文字列である。</p> <p>「ラベル」は、本技術細則により定められる ASCII ラベルおよび日本語ラベルにより構成される。</p>	<p>改訂日・実施日の記載</p>

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）

「ASCII ラベル」は、英字（（"A"から"Z"））、数字（（"0"から"9"））、ハイフン（（"-"））からなる文字列である。ただし、ASCII ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。ASCII ラベルの長さは、63 文字以下でなければならない。ASCII ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。

「日本語ラベル」は、本技術細則により定められる日本語文字を 1 文字以上含む、日本語文字および英字（（"A"から"Z"））、数字（（"0"から"9"））、ハイフン（（"-"））からなる文字列である。ただし、日本語ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。日本語ラベルの長さは、15 文字以下でなければならない。日本語ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。

「日本語文字」は、「JIS X 0208:1997 7 ビット及び 7 ビットの 2 バイト情報交換用符号化漢字集合」（（以下「JIS X 0208:1997」という））における符号表のうち、次にあげる文字により構成される。

- （(1) 4 区の文字（平仮名）
- （(2) 5 区の文字（片仮名）
- （(3) 16 区から 84 区の文字（漢字）
- （(4) 1 区のうち、次にあげる文字（中点、仮名又は漢字に準じるもの）

区点	UCS	文字
1-6	30FB	・
1-19	30FD	、
1-20	30FE	ゝ
1-21	309D	ゑ
1-22	309E	ゞ
1-24	4EDD	全
1-25	3005	々
1-26	3006	ヾ
1-27	3007	〇
1-28	30FC	ー

区点: JIS X 0208:1997 における区点番号。

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）

「ASCII ラベル」は、英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、ASCII ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。ASCII ラベルの長さは、63 文字以下でなければならない。ASCII ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。

「日本語ラベル」は、本技術細則により定められる日本語文字を 1 文字以上含む、日本語文字および英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、日本語ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。日本語ラベルの長さは、15 文字以下でなければならない。日本語ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。

「日本語文字」は、「JIS X 0208:1997 7 ビット及び 7 ビットの 2 バイト情報交換用符号化漢字集合」（以下「JIS X 0208:1997」という）における符号表のうち、次にあげる文字により構成される。

- (1) 4 区の文字（平仮名）
- (2) 5 区の文字（片仮名）
- (3) 16 区から 84 区の文字（漢字）
- (4) 1 区のうち、次にあげる文字（中点、仮名又は漢字に準じるもの）

区点	UCS	文字
1-6	30FB	・
1-19	30FD	、
1-20	30FE	ゝ
1-21	309D	ゑ
1-22	309E	ゞ
1-24	4EDD	全
1-25	3005	々
1-26	3006	ヾ
1-27	3007	〇
1-28	30FC	ー

区点: JIS X 0208:1997 における区点番号。

備考

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）	都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																		
<p>UCS: The Unicode Standard, Version 3.2.0(以下「Unicode」という)の符号表における文字位置を示す番号。</p> <p>「区切り文字」は、次にあげる文字により構成される。ラベルには、区切り文字は含まれない。</p> <p>(1) 「JIS X 0201:1997 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合」(以下「JIS X 0201:1997」という)における区切り文字</p> <p>8ビット符号(16進数) UCS 図形記号 ----- 10/1(A1) FF61 。</p> <p>8ビット符号: JIS X 0201:1997 の8ビット符号表における位置。</p> <p>(2) JIS X 0208:1997 における区切り文字</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>3002</td> <td>。</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>FF0E</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン名」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン名」、「第3レベルドメイン名」、...と呼ぶ。</p> <p>「ネームサーバホスト名」は、ネームサーバ設定の際に指定されるドメインネームサーバ(以下「ネームサーバ」という)の名称である。ネームサーバホスト名は、3つ以上のラベルをピリオド(".") で区切って連結した文字列である。</p> <p>2. 都道府県型 JP ドメイン名の構成</p> <p>都道府県型 JP ドメイン名の構成は、次の通りである。</p> <p><ラベル>.<都道府県ラベル>.JP</p>	区点	UCS	文字	1-3	3002	。	1-5	FF0E	.	<p>UCS: The Unicode Standard, Version 3.2.0 (以下「Unicode」という) の符号表における文字位置を示す番号。</p> <p>「区切り文字」は、次にあげる文字により構成される。ラベルには、区切り文字は含まれない。</p> <p>(1) 「JIS X 0201:1997 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合」(以下「JIS X 0201:1997」という)における区切り文字</p> <p>8ビット符号(16進数) UCS 図形記号 ----- 10/1 (A1) FF61 。</p> <p>8ビット符号: JIS X 0201:1997 の8ビット符号表における位置。</p> <p>(2) JIS X 0208:1997 における区切り文字</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>3002</td> <td>。</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>FF0E</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン名」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン名」、「第3レベルドメイン名」、...と呼ぶ。</p> <p>「ネームサーバホスト名」は、ネームサーバ設定の際に指定されるドメインネームサーバ(以下「ネームサーバ」という)の名称である。ネームサーバホスト名は、3つ以上のラベルをピリオド(".") で区切って連結した文字列である。</p> <p>2. 都道府県型 JP ドメイン名の構成</p> <p>都道府県型 JP ドメイン名の構成は、次の通りである。</p> <p><ラベル>.<都道府県ラベル>.JP</p>	区点	UCS	文字	1-3	3002	。	1-5	FF0E	.	
区点	UCS	文字																		
1-3	3002	。																		
1-5	FF0E	.																		
区点	UCS	文字																		
1-3	3002	。																		
1-5	FF0E	.																		

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）	都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>「ASCII ドメイン名」は、都道府県型 JP ドメイン名のうち、<ラベル> が ASCII ラベルであるドメイン名である。ASCII ドメイン名の <ラベル> は、3 文字以上でなければならない。</p> <p>「日本語ドメイン名」は、都道府県型 JP ドメイン名のうち、<ラベル> が日本語ラベルであるドメイン名である。日本語ドメイン名の <ラベル> は、1 文字以上でなければならない。</p> <p><都道府県ラベル>は別紙 1「都道府県ラベル」に指定したラベルとする。</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>「申請文字列」は、株式会社日本レジストリサービス（以下「当社」という）への登録申請の際に、ドメイン名およびネームサーバホスト名として指定される文字列である。</p> <p>申請文字列には本技術細則により定められる互換用文字を含んでよい（付録 1「互換用文字」を参照）。</p> <p>「正規化」は、申請文字列によって構成された各文字を、後述の手順に従って変換することである。</p> <p>正規化は、ピリオド（"."）または区切り文字で分割した文字列単位で行う。ラベルは正規化後の文字列である。ラベルの連結はピリオド（"."）で行う。</p> <p>都道府県型 JP ドメイン名における正規化は、以下の手順により行う。</p> <p>(1) 付録 2「正規化における文字置換の方式」により定められる方式 (2) 付録 3「正規化における文字合成の方式」により定められる方式</p> <p>当社が登録するドメイン名およびネームサーバホスト名は、正規化後の文字列を使用する。正規化後の文字列に日本語文字が 1 文字も含まれないラベルは、ASCII ラベルとして取り扱う。</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>ネームサーバ設定の際に、対象となるドメイン名およびネームサーバホスト名に日本語ラベルが含まれている場合、本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式により正規化を行う。その正規化した日本語ラベルを Unicode に変</p>	<p>「ASCII ドメイン名」は、都道府県型 JP ドメイン名のうち、<ラベル> が ASCII ラベルであるドメイン名である。ASCII ドメイン名の <ラベル> は、3 文字以上でなければならない。</p> <p>「日本語ドメイン名」は、都道府県型 JP ドメイン名のうち、<ラベル> が日本語ラベルであるドメイン名である。日本語ドメイン名の <ラベル> は、1 文字以上でなければならない。</p> <p><都道府県ラベル>は別紙 1「都道府県ラベル」に指定したラベルとする。</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>「申請文字列」は、株式会社日本レジストリサービス（以下「当社」という）への登録申請の際に、ドメイン名およびネームサーバホスト名として指定される文字列である。</p> <p>申請文字列には本技術細則により定められる互換用文字を含んでよい（付録 1「互換用文字」を参照）。</p> <p>「正規化」は、申請文字列によって構成された各文字を、後述の手順に従って変換することである。</p> <p>正規化は、ピリオド（"."）または区切り文字で分割した文字列単位で行う。ラベルは正規化後の文字列である。ラベルの連結はピリオド（"."）で行う。</p> <p>都道府県型 JP ドメイン名における正規化は、以下の手順により行う。</p> <p>(1) 付録 2「正規化における文字置換の方式」により定められる方式 (2) 付録 3「正規化における文字合成の方式」により定められる方式</p> <p>当社が登録するドメイン名およびネームサーバホスト名は、正規化後の文字列を使用する。正規化後の文字列に日本語文字が 1 文字も含まれないラベルは、ASCII ラベルとして取り扱う。</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>ネームサーバ設定の際に、対象となるドメイン名およびネームサーバホスト名に日本語ラベルが含まれている場合、本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式により正規化を行う。その正規化した日本語ラベルを Unicode に変</p>	

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）	都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																																																												
<p>換し、RFC5891 で定義される以下の手順によりエンコーディングした文字列と置き換える。</p> <p>(1) RFC3492 で定義されるアルゴリズムによりエンコーディングを行う</p> <p>(2) RFC5890 で定義されるプレフィックスを前置する</p> <p>JIS X 0208:1997 から Unicode への変換の際の対応表として、付録 4「日本語文字一覧」により示される対応表を使用する。</p> <p>5. 都道府県型 JP ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>「署名鍵」は、DNS のリソースレコードである DS レコードの RDATA 部である下記の(1) から(4) の 4 要素（RFC4034 参照）の値を空白文字にて連結した文字列である。登録原簿には、その署名鍵の形式で記載する。</p> <p>(1) 鍵タグ 対応する DNSKEY レコードから生成した整数値</p> <p>(2) アルゴリズム 対応する DNSKEY レコードのアルゴリズムを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>アルゴリズム</th> <th>参照 RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3</td><td>DSA</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>5</td><td>RSASHA1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>6</td><td>DSA-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>7</td><td>RSASHA1-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>8</td><td>RSASHA256</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>10</td><td>RSASHA512</td><td>RFC5702</td></tr> </tbody> </table> <p>(3) ダイジェストタイプ ダイジェストタイプを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>ダイジェストタイプ</th> <th>参照 RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SHA-1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>2</td><td>SHA-256</td><td>RFC4509</td></tr> </tbody> </table>	整数値	アルゴリズム	参照 RFC	3	DSA	RFC4034	5	RSASHA1	RFC4034	6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155	7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155	8	RSASHA256	RFC5702	10	RSASHA512	RFC5702	整数値	ダイジェストタイプ	参照 RFC	1	SHA-1	RFC4034	2	SHA-256	RFC4509	<p>換し、RFC5891 で定義される以下の手順によりエンコーディングした文字列と置き換える。</p> <p>(1) RFC3492 で定義されるアルゴリズムによりエンコーディングを行う</p> <p>(2) RFC5890 で定義されるプレフィックスを前置する</p> <p>JIS X 0208:1997 から Unicode への変換の際の対応表として、付録 4「日本語文字一覧」により示される対応表を使用する。</p> <p>5. 都道府県型 JP ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>「署名鍵」は、DNS のリソースレコードである DS レコードの RDATA 部である下記の (1) から (4) の 4 要素（RFC4034 参照）の値を空白文字にて連結した文字列である。登録原簿には、その署名鍵の形式で記載する。</p> <p>(1) 鍵タグ 対応する DNSKEY レコードから生成した整数値</p> <p>(2) アルゴリズム 対応する DNSKEY レコードのアルゴリズムを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>アルゴリズム</th> <th>参照 RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3</td><td>DSA</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>5</td><td>RSASHA1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>6</td><td>DSA-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>7</td><td>RSASHA1-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>8</td><td>RSASHA256</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>10</td><td>RSASHA512</td><td>RFC5702</td></tr> </tbody> </table> <p>(3) ダイジェストタイプ ダイジェストタイプを示す下記の整数値のいずれか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>ダイジェストタイプ</th> <th>参照 RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SHA-1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>2</td><td>SHA-256</td><td>RFC4509</td></tr> </tbody> </table>	整数値	アルゴリズム	参照 RFC	3	DSA	RFC4034	5	RSASHA1	RFC4034	6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155	7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155	8	RSASHA256	RFC5702	10	RSASHA512	RFC5702	整数値	ダイジェストタイプ	参照 RFC	1	SHA-1	RFC4034	2	SHA-256	RFC4509	
整数値	アルゴリズム	参照 RFC																																																												
3	DSA	RFC4034																																																												
5	RSASHA1	RFC4034																																																												
6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																												
7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																												
8	RSASHA256	RFC5702																																																												
10	RSASHA512	RFC5702																																																												
整数値	ダイジェストタイプ	参照 RFC																																																												
1	SHA-1	RFC4034																																																												
2	SHA-256	RFC4509																																																												
整数値	アルゴリズム	参照 RFC																																																												
3	DSA	RFC4034																																																												
5	RSASHA1	RFC4034																																																												
6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																												
7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155																																																												
8	RSASHA256	RFC5702																																																												
10	RSASHA512	RFC5702																																																												
整数値	ダイジェストタイプ	参照 RFC																																																												
1	SHA-1	RFC4034																																																												
2	SHA-256	RFC4509																																																												

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）	都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>(4) ダイジェスト 対応する DNSKEY レコードのメッセージダイジェストを 16 進数で表した文字列</p> <p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>ネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名が"JP"の場合、そのネームサーバホスト名は、登録原簿に記載されている属性型（組織種別型）・地域型 JP ドメイン名、汎用 JP ドメイン名もしくは都道府県型 JP ドメイン名に含まれるものでなければならない。 当社は、この制限事項に反するネームサーバホスト名を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>ネームサーバホスト名には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) <u>"**-"</u> (<u>"**"は ASCII ラベルに使用可能な任意の 1 文字</u>) で始まるラベル</p> <p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録される電子メールアドレスのドメイン名部分 (<u>電子メールアドレスにおける"@"の右側</u>) には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) <u>"**-"</u> (<u>"**"は ASCII ラベルに使用可能な任意の 1 文字</u>) で始まるラベル (2) 日本語ラベル</p> <p>6.3 URI における制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録される URI のホスト名部分には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) <u>"**-"</u> (<u>"**"は ASCII ラベルに使用可能な任意の 1 文字</u>) で始まるラベル</p> <p>6.4 署名鍵における制限事項</p> <p>都道府県型 JP ドメイン名に設定された署名鍵がセキュリティやその他の問題</p>	<p>(4) ダイジェスト 対応する DNSKEY レコードのメッセージダイジェストを 16 進数で表した文字列</p> <p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>ネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名が"JP"の場合、そのネームサーバホスト名は、登録原簿に記載されている属性型（組織種別型）・地域型 JP ドメイン名、汎用 JP ドメイン名もしくは都道府県型 JP ドメイン名に含まれるものでなければならない。 当社は、この制限事項に反するネームサーバホスト名を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>ネームサーバホスト名には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) <u>"**-"</u> ("<u>**"は任意の 1 文字</u>) で始まるラベル</p> <p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録される電子メールアドレスのドメイン名部分（電子メールアドレスにおける"@"の右側）には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) <u>"**-"</u> ("<u>**"は任意の 1 文字</u>) で始まるラベル (2) 日本語ラベル</p> <p>6.3 URI における制限事項</p> <p>登録者または公開連絡窓口などの申請情報として登録される URI のホスト名部分には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) <u>"**-"</u> ("<u>**"は任意の 1 文字</u>) で始まるラベル</p> <p>6.4 署名鍵における制限事項</p> <p>都道府県型 JP ドメイン名に設定された署名鍵がセキュリティやその他の問題</p>	<p></p> <p>ASCII ラベルに使用可能な文字に限定していた制限を ASCII ラベル以外にも広げる</p> <p>表記の統一</p> <p>ASCII ラベルに使用可能な文字に限定していた制限を ASCII ラベル以外にも広げる</p>

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）

を引き起こす可能性がある」と当社が判断した場合、当社は署名鍵を登録原簿から抹消することができる。

7. 予約ドメイン名

当社は、特定の都道府県型 JP ドメイン名を、すべての組織が登録できないドメイン名として、ないしは特定の組織を除いて登録できないドメイン名として指定する場合がある。これを予約ドメイン名と呼ぶ。この指定および指定解除、その他の詳細は指定の都度定める。

別紙1 「都道府県ラベル」

都道府県名	ラベル
北海道	HOKKAIDO
青森	AOMORI
岩手	IWATE
宮城	MIYAGI
秋田	AKITA
山形	YAMAGATA
福島	FUKUSHIMA
茨城	IBARAKI
栃木	TOCHIGI
群馬	GUNMA
埼玉	SAITAMA
千葉	CHIBA
東京	TOKYO
神奈川	KANAGAWA
新潟	NIIGATA
富山	TOYAMA
石川	ISHIKAWA
福井	FUKUI
山梨	YAMANASHI
長野	NAGANO
岐阜	GIFU
静岡	SHIZUOKA
愛知	AICHI
三重	MIE

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）

を引き起こす可能性がある」と当社が判断した場合、当社は署名鍵を登録原簿から抹消することができる。

7. 予約ドメイン名

当社は、特定の都道府県型 JP ドメイン名を、すべての組織が登録できないドメイン名として、ないしは特定の組織を除いて登録できないドメイン名として指定する場合がある。これを予約ドメイン名と呼ぶ。この指定および指定解除、その他の詳細は指定の都度定める。

別紙1 「都道府県ラベル」

都道府県名	ラベル
北海道	HOKKAIDO
青森	AOMORI
岩手	IWATE
宮城	MIYAGI
秋田	AKITA
山形	YAMAGATA
福島	FUKUSHIMA
茨城	IBARAKI
栃木	TOCHIGI
群馬	GUNMA
埼玉	SAITAMA
千葉	CHIBA
東京	TOKYO
神奈川	KANAGAWA
新潟	NIIGATA
富山	TOYAMA
石川	ISHIKAWA
福井	FUKUI
山梨	YAMANASHI
長野	NAGANO
岐阜	GIFU
静岡	SHIZUOKA
愛知	AICHI
三重	MIE

備考

都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則改正案（修正履歴付き）	都道府県型JPドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
滋賀 SHIGA 京都 KYOTO 大阪 OSAKA 兵庫 HYOGO 奈良 NARA 和歌山 WAKAYAMA 鳥取 TOTTORI 島根 SHIMANE 岡山 OKAYAMA 広島 HIROSHIMA 山口 YAMAGUCHI 徳島 TOKUSHIMA 香川 KAGAWA 愛媛 EHIME 高知 KOCHI 福岡 FUKUOKA 佐賀 SAGA 長崎 NAGASAKI 熊本 KUMAMOTO 大分 OITA 宮崎 MIYAZAKI 鹿児島 KAGOSHIMA 沖縄 OKINAWA ----- =====	滋賀 SHIGA 京都 KYOTO 大阪 OSAKA 兵庫 HYOGO 奈良 NARA 和歌山 WAKAYAMA 鳥取 TOTTORI 島根 SHIMANE 岡山 OKAYAMA 広島 HIROSHIMA 山口 YAMAGUCHI 徳島 TOKUSHIMA 香川 KAGAWA 愛媛 EHIME 高知 KOCHI 福岡 FUKUOKA 佐賀 SAGA 長崎 NAGASAKI 熊本 KUMAMOTO 大分 OITA 宮崎 MIYAZAKI 鹿児島 KAGOSHIMA 沖縄 OKINAWA ----- =====	
<u>変更履歴（2012年7月16日版→2013年11月12日版への変更）</u> ・「6.1 ネームサーバホスト名における制限事項」「6.2 電子メールアドレスにおける制限事項」「6.3 URIにおける制限事項」の変更	変更履歴（2012年7月16日版→2013年11月12日版への変更） ・「6.1 ネームサーバホスト名における制限事項」「6.2 電子メールアドレスにおける制限事項」「6.3 URIにおける制限事項」の変更	変更履歴の追加